

イ号物件目録

一、商品名 いかなぎ容器（三枚連結容器）

二、構造の説明

1. 別紙イ号物件図面に示すとおり

(1) 魚介類を適宜分量に区分け収容した状態で茹でることができる三枚の単位容器1と、各单位容器間に介在配設され二個の単位容器を連結する連結部2から成る連結容器において、

(2) 上記連結部2は、中央に括れ部2-1aを有する長方形の板体で、縦長の両端部がそれぞれ対応する単位容器の外面上部に連続し、

(3) 上記括れ部2-1aは単位容器に連続する左右端部に対し厚みが薄く且つ短尺で、

(4) 下部には下凸方向の曲げモーメントにより集中荷重を受ける破断誘導用の割り口2-1bを備えた

の各構造からなる連結容器である。

2. 図面にある記号の説明

1は単位容器、2は連結部、2-1aは括れ部、2-1bは割り口

三. 作用効果の説明

イ号物件は、前記構成を有することによって以下の効果を有するものである。

(1) 連結部2を長方形の板体にした効果

連結部2を長方形の板体にし、この板体の縦長の両端部が対応する単位容器1の外面上部に連結したことで、単位容器1と連結部2の接面面積が大きくなり、その固定強度が大となって、単位容器1にかかる左右方向への引張りなどによって連結部2と単位容器1が意に反して分離するおそれがない。即ち、連結部2を縦長の長方形の板体にしたことにより単位容器1の離反あるいは振れを防止できるリブ的效果がある。また、茹でる際の熱効果が向上する。

(2) 長方形の板体の連結部2に括れ部2-1aと割り口2-1bを設けた効果（その

一）

括れ部2-1aの下端下方には、連結部2の左右端部の下端に囲まれた空間状の割り口2-1bが設けられているので、単位容器1の上開口面を接面する方

向へ曲げ力をかけると割り口 2-1b に対して集中荷重が作用するので、単位容器 1 の分離に際しては必ず括れ部 2-1a のみが切断され、そのため、単位容器 1 と連結部 2 との連続部（接続部）は毀損せず、容器の外面保護が図られると共に、切断時の切断層が容器内に混入する等の衛生上の不利が解消される。

(3) 長方形の板体の連結部 2 に括れ部 2-1a と割り口 2-1b を設けた効果（その二）

単位容器 1 の分離に際しては、隣合う単位容器 1 の上開口部を接面させる方向へ曲げるため、複数の連結部 2 の配置位置に制限がない。

(4) 長方形の板体の連結部 2 に括れ部 2-1a と割り口 2-1b を設けた効果（その三）

単位容器 1 間には複数の連結部 2 が配備されるが、一回の曲げ操作で複数の連結部 2 が同時に切断され、また、単位容器 1 を連結した連結容器を複数段重ねた状態でも一回の曲げ操作で複数の連結部 2 が同時に切断される。